

普通期・緊急情報



令和8年 8 月 17 日

J A 糸 島 農 畜 産 課

福岡普及指導センター

いもち病・イネカメムシ 発生情報

管内の普通期米で、いもち病・イネカメムシが発生しています。

イネカメムシは早期米で発生が多かったため、普通期米も注意が必要です。特に、夢つくし・元気つくし等の極早生品種、山田錦やもち米等の晩生品種では発生が多くなると予想されます。また、穂いもち病にも注意が必要です。

いもち病は出穂直、イネカメムシは出穂直前と後 10～14 日の防除が肝心です！以下の薬剤を参考に、確実に防除しましょう。

●基幹防除【出穂直前】

	農薬名	使用量(/10a)	使用回数	収穫前日数	適用病害虫
粉剤	ワイドナーエース粉剤 DL	3～4kg	2 回	14 日前	カメムシ いもち病
液剤	エクシードフロアブル	2,000 倍 (60～150 L)	3 回	7 日前	カメムシ
	ブラシンフロアブル	1,000 倍 (60～150 L)	2 回	7 日前	いもち病
粒剤	ガッツスター粒剤	3kg	1 回	(出穂5日前) 45 日前	カメムシ いもち病

●カメムシ補正防除【出穂後 10～14 日】

	農薬名	使用量(/10a)	使用回数	収穫前日数	適用病害虫
粉剤	エクシード粉剤 D L	3kg	3 回	7 日前	カメムシ類
液剤	キラップフロアブル	1,000～2,000 倍 (60～200 L)	2 回	14 日前	カメムシ類
粒剤	キラップ粒剤	3kg	2 回	14 日前	カメムシ類
豆つぶ剤	スタークル豆つぶ	250g	3 回	7 日前	カメムシ類

(農薬登録情報 2026 年 8 月 5 日時点)

※粒剤や豆つぶ剤は効果発揮に時間がかかるため、出穂期 5～7 日前に散布してください。

※イネカメムシは集団で移動する性質があるため、場所により発生状況が異なります。本田での発生状況を確認して散布して下さい。